

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会

vol.54
2021.12.01

若手研究者コラムリレー

萩原 悟一（はぎわら ごいち）



プロフィール

九州産業大学人間科学部 准教授
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域：測定評価

（学歴）

防衛大学校人文社会科学群人間文化学科 卒業
米国アーカンソー州立大学大学院スポーツ経営管理学専攻 修了
九州工業大学大学院生命体工学研究科博士後期課程 修了
東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士後期課程 在学中
（研究職歴）九州工業大学RA→日本経済大学講師→
鹿屋体育大学大学院准教授を経て現職
E-mail: hagi-g@ip.kyusan-u.ac.jp



米国大学院時代、DIVIのバスケット部でマネジメントスタッフをしてました

わたしの研究

今ある現象を科学的に捉える 何でも屋研究

わたしはこの分野の研究者だ！といえるものは、まだ何もありません…。今は、まだ種まきをしている時期で様々なことにチャレンジをしている研究者です。社会心理学の知識を使い心理尺度を作成したり、脳波などの生体データを用いて人の感性を推定したり、研究の幅が広すぎて、何の研究者かわからない…。そんな何でも屋の研究をしています。最近では、スポーツ関係ないのでは？というような研究にもトライしており、いい意味では広く浅い知識のある「ジェネラリスト」ですが、悪くとらえれば一つの分野も追及できない「未熟な研究者」であるともいえます。他の人にできない研究をしてみたいという思いから、今は様々な分野の研究に積極的にトライしております。将来的には、幅広い分野で使用した分析視点やアイデアを使用し、スポーツの魅力をより広く伝えていく研究者になれればと思っております。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

IFも高くない雑誌に掲載された論文ですが、世界的に著名な研究者との共同研究ということもあり、被引用回数伸びております。掲載まで指導してくれたBrewer博士、Van Raalte博士に感謝です。

Hagiwara, G., Iwatsuki, T., Isogai, H., Van Raalte, J.L., Brewer, B.W. (2017). Relationships among sports helplessness, depression, and social support in American college student-athletes. Journal of Physical Education and Sport, 17(2): 753 - 757.

（なんでも帳）

なんでも帳ということで、現在の私について書きたいと思います。仕事の面では、昨年9月に大学を異動して、バタバタな一年でもありました。また、株式会社の技術顧問に就任し、スポーツ以外の研究に関する課題に取り組む機会も増え、とても刺激的な毎日過ごしています。そして、何を血迷ったか今年4月より大学院に進学し、新たな分野でのチャレンジも始めました。プライベートでは、第3子が昨年10月に誕生し、家族が増え毎日、奮闘しております。いろいろなことが起こった2020年でしたが、感じていることは「家族の支えがなければ、研究も教育もできない」ということです。まずは、身近な家族に感謝し、そして、支援してくれる人たちにも感謝し、「何でも屋」として活動していければと考えております。

何でも屋ですので、気軽にお声掛けいただき、何かご一緒出来ることがあれば一緒に日本のスポーツ科学を、そして、日本体育・スポーツ・健康学会を盛り上げていけるようなことができれば嬉しいです。

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！ → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

